

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： あまし商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価								
巡回・窓口相談指導事業	小規模零細企業を中心に、職員が事業所へ訪問し、国・県の小規模企業施策の普及利用促進を図るとともに、窓口や巡回相談により経営方向上・経営革新など専門家派遣による支援、融資等の金融相談、申告時期の税務相談、労務相談等企業経営全般について様々な相談指導を図り、地域経済の安定的発展を目指す。	実企業数 829事業所（巡回534、窓口295） 延指導件数 1,793（巡回1,173、窓口620） 課題解決提案件数 40件 経営革新計画承認件数 3件	小規模事業者	指標	巡回窓口指導延件数 (達成度 199.2%)			指標	課題解決提案件数 (達成度 100.0%)			小規模事業者の良き相談相手として企業の経営改善支援及び各種施策の活用を奨励することができた。企業診断等を提案し経営改善に繋げることも、現行の制度や規則に関する問題点の指摘と改善案を提示する等の小規模事業者の方の知識を深めることができた。	総合評価 A	実施側評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後も経済情勢に応じた相談指導を実施し一人でも多くの小規模事業者の支援ができるようニーズを掘り起こすことが必要である。に役立ててもらえるようニーズの掘り起こしが必要である。職員間で情報を共有し効率的かつ重点的に巡回・訪問を実施していく。
				目標数値	900	実績数値	1793	目標数値	40	実績数値	40				目標達成度	A	必要性	A	現行どおり	
記帳継続指導	個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導を行い、経理の自計化による計数管理と経営数値の向上と適正な税務申告に結びつける。	記帳指導企業数 122事業所 記帳指導日数 907日 記帳指導回数 2,439回	小規模事業者（個人経営者）	指標	記帳指導延回数 (達成度 93.8%)			指標				適正な税務申告と自計化に結びつき日頃から計数感覚を養うことができた。記帳機械化により記帳事務から解放されるとともに、得られた経営資料から自分で経営診断もでき、また今後の指導に繋げることができた。	総合評価 B	実施側評価 B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	例年決算指導を実施しているが、記帳指導は経営指導等その他の指導の端緒ともなる事業であり、適正な決算申告をしてもらうよう今後も継続して重点的な取組が必要である。
				目標数値	2600	実績数値	2439	目標数値		実績数値					目標達成度	B	必要性	B	現行どおり	
講習会事業	多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとっての必要な経営、経理、金融・労働・税務等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と事業運営に資することを目的とする。また、時代のニーズにあった雇用関係を含めた労働問題に対応する。	個別講習会 開催回数 25回 参加者人数 369人 集団講習会 開催回数 6回 参加者人数 58人	小規模事業者	指標	個別講習会参加者数 (達成度 92.3%)			指標	集団講習会参加者数 (達成度 96.7%)			知識の習得や資質向上に繋がった。ビジネスマナー講習会では異業種間での交流ができたこと、日頃の業務の再確認をすることができ、従業員の知識の向上に繋がった。	総合評価 A	実施側評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後は巡回等により事業者の声に傾聴しニーズに合った講習会の開催に努める。集団講習会の内容を周知方法を今後検討する。
				目標数値	400	実績数値	369	目標数値	60	実績数値	58				目標達成度	A	必要性	B	現行どおり	
青年部・女性部事業	青年部・女性部での交流や社会活動を通じて地域とかわりを持つことにより、地域社会の発展に寄与するとともにこれからの地域社会を担う人材を育てる。	青年部事業 防犯啓発運動 7/7 あまつり 8/19 あまつり 9/10 サンタ事業 12/22 視察研修会 12/22 女性部事業 あまつり 8/19 視察研修会 10.15～16 役員研修会 11.9 フワワーアレンジメント 12/21 切手取りまとめ 1/26	青年部員 女性部員	指標	青年部事業の回数 (達成度 100.0%)			指標	女性部事業の回数 (達成度 100.0%)			各種事業の企画、運営を通じて企画力、事業遂行能力など青年経営者として必要な資質を身につけることができた。商工業に携わる女性として必要な教養、資質の育成に繋がった。	総合評価 A	実施側評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後も今まで通り事業を実施し、より良い青年経営者づくりと経営者夫人としての必要な教養育成に努めていく。
				目標数値	5	実績数値	5	目標数値	5	実績数値	5				目標達成度	A	必要性	B	現行どおり	
部会・委員会事業	商業・工業などの各部会活動を行い、部会参加企業の発展に資することを目的とする。	会員交流事業 10/19 参加人数 47人 部会合同研修 1/22 参加人数 173	商業・工業部会員	指標	研修参加人数 (達成度 110.0%)			指標				研修会参加者の知識の向上、会員相互の親睦交流を深めた。	総合評価 A	実施側評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	多くの方に参加していただけるために、社会のニーズに適した研修先を選定し企画・立案する。
				目標数値	200	実績数値	220	目標数値		実績数値					目標達成度	A	必要性	B	現行どおり	
福利厚生事業	一年に一回健康診断を受けることが法で義務付けられており、小規模事業者等においては、受診する機会が少ない。そこで、商工会が主体となり、受診機会を提供することにより健康増進をし、安定的な企業経営を促進することを目的とする。	回数6回 (8/29・8/30・9/13・9/19・9/20・9/29) 事業所数 91 参加者数 472	委託事業所数	指標	参加事業所数 (達成度 75.8%)			指標				小規模事業者及びそこで働く従業員を対象に健康診断を実施し健康維持増進に資することにより安定的な企業運営の充実させた。	総合評価 B	実施側評価 B	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	健康診断事業は会員事業者に対して定着してきている事業であり、健全な企業を育てるためにも重要な事業である。今後も積極的に活用してもらえるよう努力していきたい。
				目標数値	120	実績数値	91	目標数値		実績数値					目標達成度	B	必要性	B	現行どおり	
労働保険事業	事業主の委託を受けて、労働保険料の申告納付その他の労働保険、一人親方に関する各種の届出等の事務手続きを行うことにより、中小事業主の事務の負担を軽減し、労働保険の適用促進及び労働保険料の適正な徴収を図ることを目的とする。	委託事業所数 委託事業所数 203事業所 従業員数 861人	小規模事業者	指標	委託事業所数 (達成度 109.7%)			指標				労働保険に関する事務の委託を通じて国・県の各種労働施策の普及及び利用促進に繋がった。また、雇用の維持にも貢献できた。	総合評価 A	実施側評価 A	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標	今後も労働保険の制度についての説明及び加入促進をするの増加に努める。
				目標数値	185	実績数値	203	目標数値		実績数値					目標達成度	A	必要性	B	現行どおり	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。

平成29年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： あま市商工会

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考					
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D評価								
青色申告会・法人会事業	法人部会・青色申告部会等の税務支援団体・地域貢献団体の活動をサポートし、事務運営に協力することにより、国・地方公共団体、地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては、商工業の活性化に資することを目的とする。	法人会 事業開催回数 5回254人 (視察研修、講習会等) 青色申告会 事業開催回数 1回44人 (視察研修)	小規模事業者	指標	事業参加者数 (達成度 198.7 %)			指標	(達成度 %)			地域社会への貢献や発展のための一助となり、ひいては商工業の活性化を図ることが出来る。	総合評価	A	実施側の自己評価	調査結果の	満足度	補足	目標	部会事業は商工業の発展と組織強化、会員相互交流に繋がるため、今後も現行通り実施していくが、事業の合同開催を予定しているため事業計画数を合算し目標数値を下げる。
				目標数値	150	実績数値	298	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					目標数値	実績数値	調査結果の	必要性	
地域産業活性化事業(イルミネーション事業)	平成29年度で14回を迎えるイルミネーション事業で取付作業を地域住民(小規模事業者を含む)とともに、事業を行うことと作り上げることの感動を分かち合ふことにより地域住民の地域離れを防ぎ、地域の活性化に結びつく。また地域住民、小規模事業者、商工会の連携を強化できる。	取付作業期間 2017/8/1～11/23 (各土・日曜) 点灯期間 2017/11/24～2018/1/3 点灯時間 午後5時～午後10時 来場者数 11,000人	小規模事業者及び市民、近隣市町村住民	指標	来場者数 (達成度 52.4 %)			指標	(達成度 %)			イルミネーション事業を通じ、地域商工業を広く市内外に発信する場を提供し、会員事業所並びに地域住民と創り上げることで地域貢献や商工業発展のための一助となり、ひいては地域連携強化と活性化に繋がった。	総合評価	A	実施側の自己評価	調査結果の	満足度	補足	目標	毎年楽しみにされる地域住民や商工会員の方々にも感動してもらえよう継続して実施していきたい。また、地域を本事業を通じてより活性化し、地域内商工業者の発展に寄与していきたい。
				目標数値	21000	実績数値	11000	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					目標数値	実績数値	調査結果の	必要性	
地域振興事業	あま市内の事業所を紹介、PRする目的でスタンプラリーを行い、あま市内外へ事業所情報を発信し新規顧客の獲得をし、商工業の活性化を目的とする。	商工会情報誌発行 掲載企業数 149社	小規模事業者	指標	掲載企業数 (達成度 149.0 %)			指標	(達成度 %)			スタンプラリーを兼ねた事業所紹介誌を作成する事で、あま市内外の人たちに参加事業所を巡っていただき、今まで知らなかったお店の発見に繋がった。また、店主と消費者のコミュニケーションを図る機会が出来、市場の需要を知ることができ、今後の経営に繁栄していくという声も得られた。	総合評価	A	実施側の自己評価	調査結果の	満足度	補足	目標	参加事業所数の増加を見込むのと共に、見やすいマップの作成、より魅力的な地域情報誌とするべく、参加事業所数を増加する。
				目標数値	100	実績数値	149	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					目標数値	実績数値	調査結果の	必要性	
若手後継者育成事業	平成28年度に引き続き若手経営者の資質向上を目的に、ビジネスマナー講習会(中級編)を実施する。 前年度受講者の多くは、継続的に接客マナーを磨く講習会の開催を求めており、講義の中から『おもてなし』の気構えを学んでもらい、ビジネスチャンス創出を担う。 また、青年部長を始めとする青年部幹事が青年部全国大会・交流会等へ積極的に参加し、若手経営者としてのスキルを身につけてもらう機会を創る。これにより青年部員全体の資質向上を図る事ができる。	講演会 経営講演会 12/15 参加者人数 14名 満足度調査 79% 全国大会 平成29年11月21日～22日 参加者人数 3名	小規模事業者	指標	満足度(講習会) (達成度 112.9 %)			指標	(達成度 %)			講習会を開催し、どちらも講習後の業務に大いに活かすことが出来たという高い効果と反響を得ることが出来た。 また、講習会開催時間が日常業務終了後ということもあり、多くの参加者を得ることが出来た。 全国大会では、多くの他地域の青年部員と交流を深めお互いの活動発表をし、地域活性化の手法を学んだ。	総合評価	A	実施側の自己評価	調査結果の	満足度	補足	目標	青年部員のコミュニケーション能力向上を図るため講演会を開催する。指導者資質向上対策として、全国大会に参加する。 今後、事業遂行を円滑かつスムーズに実施するためにも青年部活動PRが必要と思われることと青年部員が61名だが4年間で28名が定年となり部員が減少するので、部員増強委員会を設立し青年部のPR活動を実施しながら新部員の加入促進を行う。
				目標数値	70	実績数値	79	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					目標数値	実績数値	調査結果の	必要性	
地域産業活性化事業(新規創業者発掘・支援)	新規創業等を志す方々の支援の一環として、あま市内の空き家・空き店舗等の情報照会・斡旋を行うことで、あま市内の商工業の活性化を目的とする。	情報照会・斡旋事業所数 3	小規模事業者	指標	情報照会・斡旋事業所数 (達成度 60.0 %)			指標	(達成度 %)			新規で創業を目指す方から経営計画についての相談を受けるなかで、店舗等の物件が決まっていけない方に対してあま市担当課へ状況照会をし、空き家物件などの情報提供を行った。物件情報が充実しておらず残念ながら該当する物件は見つからなかったが、創業者に寄り添ったサポートができた。	総合評価	B	実施側の自己評価	調査結果の	満足度	補足	目標	まだ情報提供できる物件情報が充実しておらず成約に至ったケースがないため、今後はあま市及び宅建協会名南西支部との連携を強化しながら、地域内で創業を目指す方に有益な情報提供と経営支援につなげていきたい。
				目標数値	5	実績数値	3	目標数値	実績数値	目標数値	実績数値					目標数値	実績数値	調査結果の	必要性	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。